



発行所 蒲生町役場
発行者 森文雄
編集人 川崎兼季
印刷所 キング堂印刷所

蒲生町 経済振興 計画成る

基本方針

はしがき

地方自治の根本精神は、究極に於て住民の福祉を増進することにあるのであり、行政機関に於て行うべき施策は悉くこの目的を達成するため運用されるべきである。この基本方針は本町の最も住民に影響の大なる問題であり行政機関として産業の振興経済の充実に方策を真剣に検討し、全力の施策を施し地方自治の本旨達成に努力しなければならぬ。

本町は鹿兒島縣經濟振興計画公表せらるゝや其の方針に従い町産業發展の爲に鋭意研究を重ね昨午四月の縣經濟自立化運

計画成る

動的發展に及んで町の経済尚当局の知識経験の及ばない為再考を要する部分の推進に努め今日に至るが達成は今後に残された問題であり町民各位の忌憚ない御意見御計画を進んで御提案され本町の経済力が漸次伸展するよう御協力御援助を御願いする次第である。

(一) 経済振興の重点

- ① 全般的事項
- ② 町内のすべての技術の集中活用を計る為めこれが適当なる運用を期する。
- ③ 積極的に町外資本の導入を促進する。
- ④ 総合開発計画推進を行

う。

- ⑤ 産業団体の育成強化を計る。
- ⑥ 貯金を奨励する。
- ⑦ 農村文化の向上を期する。
- ⑧ 納税の完遂を期する。

二、農林業

- ① 農業智識並に技術の普及徹底を期する。
- ② 農業経営機構の改善を奨励する。
- ③ 養蚕の奨励発展を計る。
- ④ 有畜農家の確立を計る。
- ⑤ 植林を奨励し木炭椎茸の増産を促進する。
- ⑥ 土地改良農道林道の整備災害防止対策を強化する。

三、商工業

- ① 商工業の育成助長。
- ② 薬工品の生産を奨励する。
- ③ 和紙の生産育成の強化を計る。
- ④ 山林資源の加工を奨励する。
- ⑤ 農産物の加工

町内各種産業団体及び社会教育等あらゆる機関と緊密なる連絡をとり、その主旨の啓発宣傳を計る。

② 経済振興計画の運営
町に経済振興協議会並びに経済振興推進委員会を設置し強力な推進態勢を整備する。町内の技術陣を統合し技術指導連絡協議会を設置し普遍的強力な指導に当る。

③ 町外資本の導入
政治交渉による工場誘致その他資本の導入を積極的に推進するは勿論町内業者の経済活動を容易ならしむる為め努力する。

④ 総合開発計画の推進
国土総合開発法に基づく土木都市計画上下水道農林道等の重要施策を推進する。

⑤ 産業団体の育成強化
農協その他各種組合等重要産業の協同組織に對し合理的経営の育成助長を計り町内各産業の中心母体としてその機能を發揮せしめる。

⑥ 金融
各種金融機関の協力により預貯金の吸収に努め資金蓄積運動を展開する。

⑦ 社会教育
農村文化の向上を計る為社会教育の徹底を期する。

⑧ 農林業
農業智識並に技術の徹底

⑨ 農産物の加工
木炭の品質の向上椎茸の増産竹林の高度利用を行

⑩ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

① 農業智識の普及
町報印刷物掲示板等によ

② 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

③ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

④ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

⑤ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

⑥ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

⑦ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

⑧ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

⑨ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

⑩ 農村生活の合理化
農村の興亡を決するもの

経済自立化

実践細項

県が提唱する主要

実践項目

- ① 自給肥料の増産と施肥改善
- ② 生活改善及び資金蓄積運動と企業心の昂揚
- ③ 協同販売体制の確立

町が提唱する
実践項目

一、農業部門

- ① 自給肥料
① 耕作反別に応じ農家に夫々生産目標数量の割当励行
- ② 各種作物の収穫時に於ける屑類の焼却をやめ肥料積込実施
- ③ 農閑期に部落で実行出来る堆肥材料蒐集週間(又は日)設定実施
- ④ 肥料製造技術の研究改善
- ⑤ 堆肥係等を設け毎月一回部落巡回し脱落者の鞭撻
- ⑥ 堆肥増産品評会の開催
- ⑦ 堆肥施肥と金肥使用の研究
- 普通作
① 施肥の改善と耕種改良並に優良農機具の共同購入
- ② 優良種子との種子更新励行
- ③ 農業知識及び技術の普

及徹底
イ 展示圃の活用
ロ 毎月一回の農談会の開催

- ④ 適期適作の作付の励行
- ⑤ 農業防疫班の活動による病害虫の防除
- ⑥ 水稲甘藷の苗床品評会及び各種農作物の多収穫競争会の開催
- ⑦ ⑥の入賞者の体験発表会の開催(耕種概要について)
- ⑧ 肥料の共同購入と農産物の共同販売の実施及び販売代金の口割の申合貯金の励行

二、換金作物

- ① 共同苗床の設置並に管理
- ② 苗床踏込材料の共同蒐集
- ③ 作付反別の増反確保と生産増強
- ④ 収納代金の口割申合貯金の励行
- 養蚕
① 桑園増反と飼蚕量の増加及び増植用桑苗の自家生産
- ② 緑肥栽培の励行と冬期桑園の肥培管理の徹底
- ③ 冬期飼育用具の補修及び簡易飼育用具の製作以上の販売代金の口割の

- ④ 残糞残こうの飼料化
- ⑤ 繭代金の口割申合貯金の励行

申合せ貯金の励行
自給肥料の部追記

- ① ペーパーハウスによる促成トマト胡瓜の栽培
- ② 高冷地帯に於ける結球白菜の集団栽培
- ③ 集団栽培による牛蒡人参里芋ラッキョー深葱の栽培
- ④ 水田裏作利用による馬鈴薯、甘藍、エンドウインゲン及び半促成の胡瓜トマト茄子南瓜の栽培
- ⑤ 高冷地に於ける胡瓜トマト茄子の抑制栽培
- ⑥ 竹林の手入れによる早掘笋の増産
- ⑦ 優良種子及び肥料の共同購入、生産物の共同販賣並に販売代金の口割の申合せ貯金の励行

果樹及特用作物
① 柑橘及び柿の品種統一による果実の共同出荷による商品化

- ② 果樹の肥培管理と病害虫の駆除の徹底
- ③ 梅橘棕ろ等の増殖
- ④ オスケの栽培(和紙組合と連絡契約栽培の組合と)

- ① 休閑田(除濕田)に対する縁肥栽培及び自家採種の励行
- ② 麦作間作のレンゲ青刈大豆栽培の徹底
- ③ 畦豆の栽培の奨励

木灰
① 毎日茶碗一杯の蒐集運動の実施

- ① 造林及び造林地の手入れの励行
- ② 自家苗木の生産確保
- ③ 林業試験場森林組合等と連絡販売用苗の生産
- ④ 伐採願書伐採届書の提出励行
- ⑤ 不良林の改良地柵実行
- ⑥ 椎茸の増産励行と共同販賣
- ⑦ 部落基本財源としての部分林等の設定

三、水産部門
① 養鯉の奨励

- ① 無家畜農家の一掃
- ② 畜産奨励
- ③ 牡牛より牝牛への切替及び去勢の励行
- ④ 牛馬畜舎の改善と畜舎内の放し飼の励行

二、林業部門

① 造林及び造林地の手入れの励行

- ① 毎日茶碗一杯の蒐集運動の実施

五、副業

- ① 藁工品の増産と共同販売及び原料藁の共同購入
- ② 手すき和紙の振興奨励と製品の規格統一増産
- ③ 竹の利用による各種竹細工の振興
- ④ 木炭の品質改善と増産
- ⑤ 草履等の自家用品の自作奨励

部落自治会編成表(例)

運営委員

部落自治会長 (小組合長)

副会長

生活部長

産業部長

総務部長

庶務会計係

部落幹部

婦人会長

青年団長

農業振興会長

消防団幹部

PTA会長

協力推進母体

農業振興会

婦人会

青年団

消防団

PTA会

衛生係

台所改善係

文化係

生活改善係

安全係

道路係

普通作係

園芸係

畜産係

土地改良係

品種改良係

自給肥料係

煙草耕作係

茶業養蚕係

納税係

企画係

教育係

庶務係

納税係

教育係

納税係

企画係

教育係

庶務係

納税係

教育係

納税係

企画係

教育係

庶務係

納税係

教育係

納税係

企画係

教育係

庶務係

納税係

教育係

納税係

企画係

教育係

庶務係

納税係

教育係

納税係

企画係

教育係

庶務係

納税係

教育係

納税係

企画係

教育係



臨時議會報告

八月三日

八月三日臨時議會を招くに決定した。

集會期を五日間と決定し、△陳情三 西浦小学校校舎を五日前に承認陳情十庭かさ上げについて三件を審議したが大要次の如し

議案第三九号 蒲生都予算面を審議することに市計画街路事業五ヶ年計決定した。これは小学校に伴う路線の順位決定と合移轉後の運動場の地面に関する件、本件は昭和均しを早急に実施して三十年度より三十三年度に及ぶと西浦校区代まで中央線（追より米丸表者より陳情されたもの）に至る線）を三十四年度である

以降に中原線、川東線を實施しようとする当局案に全員異議なく承認すること決定した。これは中原線、川東線共に未解決の問題があるので先に中央線より着手しようとするものである。

△陳情一 蒲生中学校電力給水施設設置願に関する件。本件は教育厚生委員に付託され審査され結果運動場の給水施設は当分見合はせることにして十五万円で設置することに決定、本會議に報告し全員異議なく可決して当局へ送付することに決定した。

△陳情二 学校教職員の住宅建設について。本件は教育厚生委員に付託され審査され結果教育厚生委員の住宅建設の割当を期したいという要旨のものを審議の過程で右のようにより要求する

△陳情三 西浦小学校校舎を五日前に承認陳情十庭かさ上げについて三件を審議したが大要次の如し

△陳情六 災害復旧について 本件は当局で設計して早急に予算化するよう要望することに決定した。これは川東後の代表者より提出されたもので「タイコ」橋と暗渠が水害により危険な状態になつてゐるので復旧方を陳情されたものである。

△陳情七 青敷林道の修繕について 本件は土地林野委員会に付託して自給金の支給について本件は保苗に決定した。これは鹿兒島縣自治団体職員組合連合会より提出

△陳情八 消防器具格納庫の建設について 本件は消防委員会に送付すること決定した。これは西浦消防団より提出されたものであるが消防委員会で検討されるべき問題であるので右のようにより決定されたものである。

△陳情九 三池原町道改良について 本件は当局で調査設計方を要望すること決定した。これは三池原部落より提出されたもので防火用道路及び耕作道である本道路が豪雨により破損し人畜の交通に支障を来して困つてゐるばかりでなく萬一火災の発生に備へて三萬七千円の経費で復旧したいから援助してもらいたいと陳情されたものである。

△陳情十 杉野橋補修工事 本件は保苗に決定した。これは鹿兒島縣自治団体職員組合連合会より提出

△陳情十一 夏季生活補助金として六萬二千五百円を補助していただきたいというものであり、勸業委員会に付託された。

「未亡人懇談会」 計画さる 蒲生町未亡人会に於ては町婦人会、町役場公民館後援のもとに縣より矢留先生を招き母子福祉法や母子相談員の制度につ

「敬老会」計畫さる 蒲生町婦人会に於ては町役場と共催で例年の通り九月十五日より二十一日迄の間に校区毎の敬老会を開く事になり現在準備中であるが出来る限り一般よりの協力を望んで居る。

八幡神社本殿其他の修築工事着手状況 当八幡神社本殿は天明五年に大修築行われまし

△陳情十二 1 経営費助成金の交付申請について 町営養成設備についてこれは蒲生和紙商工の協同組合より陳情されたもので勸業委員会に付託された。

△陳情十三 特産品振興補助申請について これは漆開拓農業協同組合より提出されたもので農業収入の一部となすため梅を植えたので補助金として六萬二千五百円を補助していただきたいというものであり、勸業委員会に付託された。

△陳情十四 石段下の二小社の新造 本殿の屋根葺替と漆喰正面格子戸新造 四所宮外三社の屋根葺替と漆喰壁塗替石段の手入れ 社殿周囲に白塗の垣新造



今月は特に蒲生町経済振興計画特輯号として御送りする事に致しました。読むのに骨の折れる事と思ひますが必ず御一読下さる様願ひます。